

教育・研究などへの取組状況(令和7年度)

総合工学システム学科	系・コース
	エネルギー機械コース
職階	氏名
教授	君家 直之

項目	取組状況
教 育	<p>★担当科目 総合工学システム実験実習(本科1年)、材料学(4M)、 物質デザイン概論(4年選択)、材料工学(5M)、卒業研究(5M)</p> <p>★担当科目の取組状況(工夫・改善した点) ・写真等の説明資料が多い材料関連の科目において、画像を多く掲載した書き込み式のノートプリントを毎回配布し、学生の板書の負担を軽減して内容を理解できるようにした。 ・教科書には掲載されていない半導体、炭素材料、機能性材料の内容も取り扱った。</p> <p>★特記すべき教育方法の実践例 ・Google Classroom で提出された実習レポートについて、ループリック形式で評価基準を学生にあらかじめ提示し、評価結果をフィードバックした。 ・Moodle コースサイトを導入し、自宅のPC やスマホでも予習と復習ができるようにし、ランダム小テストや授業フィードバック機能を導入して学生の授業への参加を促した。</p>
研 究	<p>★外部資金獲得状況 ・令和5～8年度科学研究費助成事業 基盤研究(C)468万円</p>
社会貢献	<p>★公開講座・出前授業の取組状況 ・エネルギー機械コース公開講座(エンジン組立) ・エネルギー機械コース公開講座(子供たちの理科工作教室)</p> <p>★学会などでの委員 ・日本材料学会ナノ材料部門委員</p>

<記入上の注意>

教育:該当年度の担当科目,担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究:該当年度の研究テーマ,学外発表実績,外部資金獲得状況,共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業,出前授業,学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況(令和6年度)

総合工学システム学科	系・コース
	エネルギー機械コース
職階	氏名
教授	君家 直之

項目	取組状況
教 育	<p>★担当科目 総合工学システム実験実習(本科1年)、材料学(4M)、機械システム実験 I (4M)、材料工学(5M)、卒業研究(5M)、工学特別ゼミナール(専攻科2年)、工学特別研究(専攻科2年)</p> <p>★担当科目の取組状況(工夫・改善した点) ・写真等の説明資料が多い材料関連の科目において、画像を多く掲載した書き込み式のノートプリントを毎回配布し、学生の板書の負担を軽減して内容を理解できるようにした。 ・教科書には掲載されていない半導体、炭素材料、機能性材料の内容も取り扱った。</p> <p>★特記すべき教育方法の実践例 ・Google Classroom で提出された実習レポートについて、ルーブリック形式で評価基準を学生にあらかじめ提示し、評価結果をフィードバックした。 ・Moodle コースサイトを導入し、自宅の PC やスマホでも予習と復習ができるようにし、ランダム小テストや授業フィードバック機能を導入して学生の授業への参加を促した。</p>
研 究	<p>★外部資金獲得状況 ・令和5～8年度科学研究費助成事業 基盤研究(C)468万円 ・令和5～6年度共同研究(井前工業)140万円</p>
社会貢献	<p>★公開講座・出前授業の取組状況 ・エネルギー機械コース公開講座(エンジン組立) ・エネルギー機械コース公開講座(子供たちの理科工作教室)</p> <p>★学会などでの委員 ・日本材料学会ナノ材料部門委員</p>

<記入上の注意>

教育:該当年度の担当科目,担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究:該当年度の研究テーマ,学外発表実績,外部資金獲得状況,共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業,出前授業,学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況(令和5年度)

総合工学システム学科	系・コース
	エネルギー機械コース
職階	氏名
教授	君家 直之

項目	取組状況
教 育	<p>★担当科目 総合工学システム実験実習(本科1年)、材料学(4M)、機械システム実験 I (4M)、材料工学(5M)、卒業研究(5M)、工学特別ゼミナールI(専攻科1年)、インターンシップ(専攻科1年)、工学基礎研究(専攻科1年)、工学特別ゼミナール(専攻科2年)、工学特別研究(専攻科2年)</p> <p>★担当科目の取組状況(工夫・改善した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専攻科1年工学特別ゼミナールIの英文論文の輪講(後期)において、英語での質疑応答を原則として実施し、次年度の国際学会での発表機会に学生が備えられるようにした。</li> <li>・写真等の説明資料が多い材料関連の科目において、画像を多く掲載した書き込み式のノートプリントを毎回配布し、学生の板書の負担を軽減して内容を理解できるようにした。</li> <li>・教科書には掲載されていない半導体、炭素材料、機能性材料の内容も取り扱った。</li> </ul> <p>★特記すべき教育方法の実践例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Google Classroom で提出された実習レポートについて、ルーブリック形式で評価基準を学生にあらかじめ提示し、評価結果をフィードバックするようにした。</li> <li>・Moodle コースサイトを導入し、自宅のPC やスマホでも予習と復習ができるようにし、ランダム小テストや授業フィードバック機能を導入して学生の授業への参加を促した。</li> </ul>
研 究	<p>★国際会議での発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・S. Kai, N. Oya, K. Sugiura, Y. Imae and K. Imae, "Adaptation of Silica-Fiber/Silica-Aerogel Composite Heat Insulations for Zero Energy Building Materials", Proceedings of The 33rd International Symposium on Transport Phenomena (ISTP33), September 24-27, Kumamoto, Japan, p.43 (2023).</li> </ul>

<記入上の注意>

教育:該当年度の担当科目,担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載.

研究:該当年度の研究テーマ,学外発表実績,外部資金獲得状況,共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業,出前授業,学協会活動などを記載

	<p>★学術講演会での発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駒井舜、君家直之、杉浦公彦、井前憲司、井前義彦、“シリカ繊維／シリカエアロゲル複合断熱材の積層工法の検討”、日本機械学会関西学生会 2023 年度学生員卒業研究発表講演会、05AM1-3.</li> <li>・坂根弘基、君家直之、杉浦公彦、伊藤靖彦、井前義彦、井前憲司、“シリカエアロゲルを用いた建材用塗料の性能評価”、日本機械学会関西学生会 2023 年度学生員卒業研究発表講演会、05AM2-2.</li> </ul> <p>★外部資金獲得状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 5～8 年度科学研究費助成事業 基盤研究(C)468 万円</li> <li>・令和 5～6 年度共同研究(井前工業)140 万円</li> </ul>
<p>社会貢献</p>	<p>★公開講座・出前授業の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー機械コース公開講座(エンジン組立)</li> <li>・エネルギー機械コース公開講座(子供たちの理科工作教室)</li> </ul> <p>★学会などでの委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本機械学会関西学生会学生員卒業研究発表講演会コメンテータ</li> <li>・日本材料学会ナノ材料部門委員</li> </ul>

<記入上の注意>

教育:該当年度の担当科目,担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載.

研究:該当年度の研究テーマ,学外発表実績,外部資金獲得状況,共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業,出前授業,学協会活動などを記載